

高知市高齢者憲章

平成7年4月1日制定

- 1 高齢者が、生き生きとした人生を送れるよう、心身の健康と安定した暮らしが守られるまちにしましょう。
- 2 高齢者が、長年にわたり社会の発展に貢献してきた者として、敬愛されるまちにしましょう。
- 3 高齢者が、培ってきた豊かな知識と経験が、家庭や地域社会で役立てられるまちにしましょう。
- 4 高齢者が、地域の人々との交流と温かいふれあいの中で、共に支えあえるまちにしましょう。
- 5 高齢者が、生涯通じて学び、生きがいをもって人生を過ごせるまちにしましょう。

高知市老人クラブ連合会の理念

高知市老人クラブ連合会は、ますます高齢化が進む中で、高知市のあるべき姿について定めた「高知市高齢者憲章」にある高齢者のためのまちづくりに大いに賛同します。

唯一の高齢者団体として、この憲章の精神を真摯に受け止め、自分達はもちろんのこと、これから後に続く子供達や孫達のためにも大切な取組であることを、世代間の共通認識となるように努力をします。

そして、高齢者を取り巻く厳しい社会情勢に対応した老人クラブの在り方を模索しつつ、高齢者の地位と福祉の向上を目指し、安心で安全なまちづくりに貢献します。

高知市老人クラブ連合会の重点目標

- 1 「健康・友愛・奉仕」活動の推進
- 2 単位老人クラブの会員増強と活性化
- 3 単位老人クラブの後継者育成
- 4 市老連ブロック活動および専門部活動の強化
- 5 市老連活動の組織強化と多面的な事業・活動の展開
- 6 交通死亡事故防止活動の推進

高知市老人クラブ連合会

令和4年度 優良老人クラブ受賞団体

ブロック名	クラブ名	役職	代表者氏名
薊野	薊野西三五クラブ	会長	北代俊雄

令和4年度 優良老人クラブ会員受賞者名簿

ブロック名	クラブ名	役職	氏名
秦	西秦泉寺長寿会	会計監査	澁谷唯猪
一宮	一宮東そめい会	前会長	泉明男

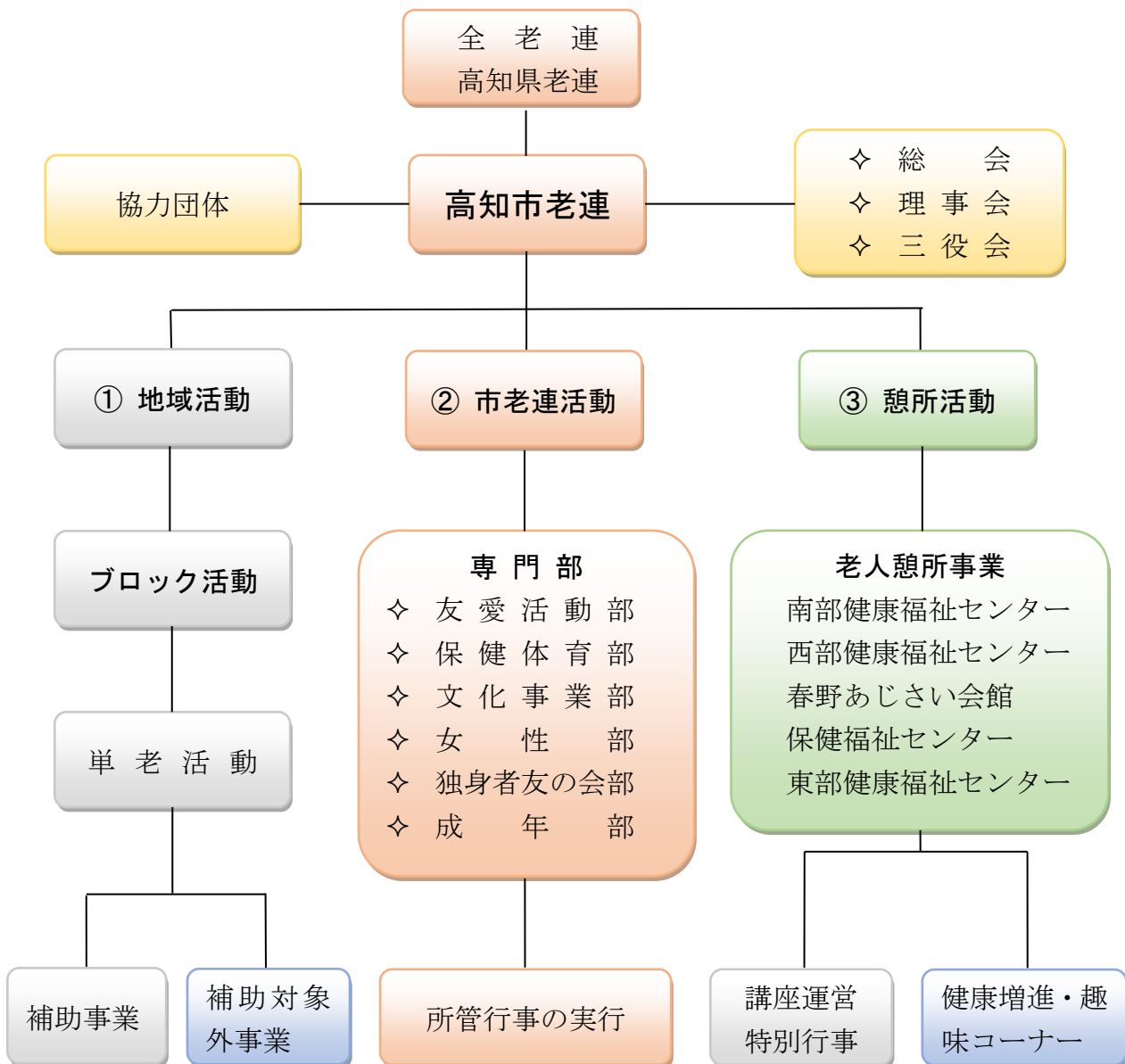
第1号議案 令和3年度事業報告

I 市老連の事業推進体制

高知市老人クラブ連合会（以下「市老連」という。）は、会員はもちろんのこと 60 歳以上の市民を対象に「健康・友愛・奉仕」活動の推進のために、下図の三事業体制で活動を行いました。

一つ目はブロック活動と単老による地域活動、二つ目は 6 専門部が企画する市老連独自の事業活動、三つ目は 60 歳以上の高知市民を対象にした老人憩所活動です。

図1 市老連の事業推進体制



Ⅱ 市老連の現状と課題

令和3年度は、次ページの表1に示すとおりクラブ数127、会員数4,960人で、最盛期の平成9年度（238クラブ、会員13,989人）と比べるとクラブ数が111クラブ減り、会員数も半分以上減りました。

新規クラブ加入者減少の要因は、政府の1億総活躍社会の実現といった方針のもとで、定年の延長や雇用延長といった高齢者の就業が促進されてきたこと、また、個人が趣味を楽しむ場の選択肢が増えたこと、さらに、生涯学習の機会やICTによる情報収集が充実してきたことなど、会員になることのメリットが薄れていることが過去のクラブ加入の環境とは様変わりしたことが考えられます。

高知市高齢者保健福祉計画（令和3～5年度）策定時のアンケートによると、家族構成では、65歳以上の一人暮らしは25%、65歳以上の夫婦二人暮らしが40%となっており、高齢者のみの世帯が65%となっております。

今後、何らかの支援や見守りが必要となる高齢者の増加が予測される中、閉じこもりがちな高齢者の連れ出しや、高齢者同士の声掛け、安否確認など、高知市が進める地域共生社会づくりにおいて、高知市老人クラブ連合会の果たす役割は大きいと思われれます。

コロナ禍において、会員活動は一定制約されてはおりますが、会員以外への広報や魅力ある事業メニューを模索し、発信していく必要があります。

図1：市老連のクラブ数と会員数の推移

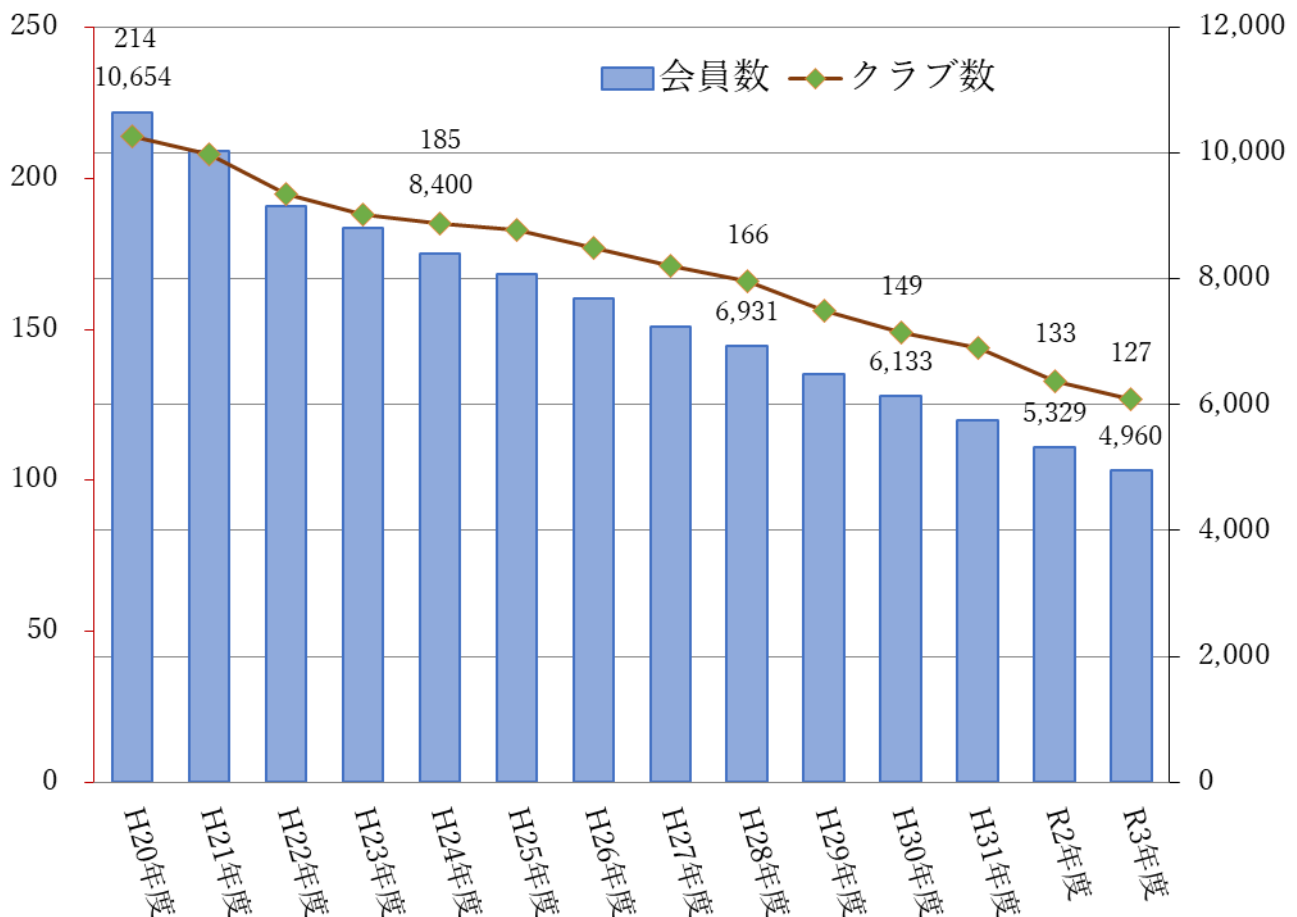


表 1：令和 3 年度 ブロック・クラブ・会員数比較

	令和 2 年度	令和 3 年度	増 減
ブロック数	20	20	0
クラブ数	133	127	-7
① 会員数 (人)	5,329	4,960	-393
② 高知市人口 (人)	325,706	323,544	-2,162
③ 60 歳以上人口 (人)	116,671	117,064	393
④ 65 歳以上人口 (人)	96,582	97,221	639
老人クラブ加入率 (%) ①/③	4.56%	4.21%	-0.35%
クラブ未加入者数 (人) ③-①	111,342	117,064	5,722
高齢化率 (%) ④/②	29.6%	30.0%	0.4%

※ 令和 3 年度の高知市人口は令和 3 年 4 月 1 日の人口データを適用

Ⅲ 高知市老人クラブ連合会の事業活動

1 地域における事業活動

(1) ブロック活動の状況

市老連活動の柱であるブロック活動では、地域の老人クラブ会長が集まり、連携を深め地域活動を強化し、活性化を図る目的で「ブロック研修会」を開催しています。

本年度は新型コロナウイルスのため、開催を断念されたブロックが多く、2 ブロックが研修会を実施し、59 名の方々が参加しました。

表 2：各ブロックの研修会の実施内容

ブロック	実施日	場 所	講 演 内 容 等	人数
鏡	6 月 23 日	高知市鏡構造改善センター	「フレイル予防について」	46
鴨田	7 月 26 日	西部健康福祉センター	「男女共同参画社会とジェンダー」	13
参加者数合計				59

ブロックで行われる研修会には、市老連から研修会に対し 1 万円、同時にブロック強化費として 1 単老当たり千円の支援をしており、令和 3 年度は実施 2 ブロックに対して合計 31,000 円を支援しました。

(2) 単位老人クラブの活動内容

令和 3 年度は、市内 20 ブロックで 127 クラブ、会員数 4,960 名で活動しました。

127 のクラブ活動に対し、高知市からは 6,096 千円の補助を受け、各クラブは様々な活動に取り組みました。

① 補助対象事業

補助対象事業の主な活動として、公園清掃・子ども見守り隊・施設訪問等の「奉仕

活動」や、スポーツ・体操会等の「健康増進活動」、また会報発行や交通安全・振り込め詐欺防止などの「研修活動」を実施しています。

- ・ 市内七河川一斉清掃への協力
毎年行われている七河川一斉清掃には全老人クラブにボランティアの協力をお願いしています。
- ・ 「南国土佐観光開き」への協力
(社)高知市観光協会の事業である「南国土佐観光開き」清掃には、はりまや橋と桂浜周辺の老人クラブが清掃奉仕に参加・協力をしています。

② 補助対象外事業

補助対象外事業は、会員からの会費や町内会・地区社協の助成金・寄付金をもとに多彩な事業を実施しています。主な事業内容は、「バザー」「日帰り旅行」「敬老会」「夏祭り」「花見」「史跡めぐり」「農作業」「害虫駆除」「老人ホーム餅つき」「他クラブ交流」「資源ごみの回収」「空き缶拾い」「子ども会・保育園との交流」「町内会役員との交流」「防災訓練」その他、地域の実情に合った多様な活動を展開しています。

2 市老連の活動実績

二つ目の柱である市老連の主催事業は、各6専門部委員会で検討し実施しました。地域の高齢者を支えあうミニデイサービス事業等で5,078人、女性大学185人、生き活き大学258人、スポーツ事業で145人、その他後援事業等への参加者1,898人、年間延べ7,564人の参加者でした。

以下に、個別の行事の概要をまとめます。

(1) 会議

① 臨時総会(書面議決)

日時 令和4年3月3日(会場:南部健康福祉センター)

- 議題
- ① 高知市老人クラブ連合会会則の一部改正について
 - ② 令和4年度事業計画(案)について
 - ③ 令和4年度予算(案)について

② 理事会(会場:南部健康福祉センター)

○ 第1回理事会(出席者26人、その他2人)

日時 令和3年4月23日(金)13時30分～

議題 総会の運営について

総会の議題予定

会則変更の骨子

議決事項 次期役員を選出について

その他報告事項

○ 第2回理事会(出席者17人、その他2人)

日時 令和3年5月14日(火)13時30分～

議題 総会議案について

その他

理事の交代について

○ 第3回理事会(出席者27人)

日時 令和3年6月30日(水) 13時30分～

議題 大型事業実施の是非について
令和3年度老人クラブ補助金の交付について
報告(専門部体制について)

○ 第4回臨時理事会(出席者21人)

日時 令和3年10月14日(木)13時30分～

議題 スポーツインライフ推進プロジェクトの実施について
その他

○ 第5回理事会(出席者19人)

日時 令和4年2月17日(木)13時30分～

議題 臨時総会の開催について
高知市老人クラブ連合会会則の一部改正について
令和4年度事業計画(案)
令和4年度予算(案)
高知市老人クラブ連合会役員等旅費規程の一部改正について
会長専決処分の報告

その他 ①令和4年度補助金申請書受付日程調整について

②県老連「パワーアップ研修会 in 南国市」参加者募集

③ 三役会 毎月第1火曜日(会長・副会長・事務局長)

理事会、総会に諮るべき事項の審議及び本会の事業活動・運営に係る事項について会議を行いました。

④ 幹部研修会

単老クラブ会長にご案内し、毎年1回幹部研修会を開催しています。3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送りました。

⑤ 専門部会

市老連には、友愛活動部、保健体育部、文化・事業部、女性部、独身者友の会部、成年部の六つの専門部会があります。

各専門部は、市老連の事業を分担し、事業の実施前には各担当が企画・運営方法等について打ち合わせを行い、事業の推進にあたっています。

(2) 他団体との連携事業

Sport in Life 推進プロジェクト

(株)第一興商がスポーツ庁より受託して実施する、「運動習慣化」を目標とした実証実験。全国で4市(高知市、瀬戸市、四日市市、桑名市)が選ばれ、高知市では当老人クラブ連合会が参加しました。メンバーは、当連合会理事と女性部員合わせて40人ほどで、2つの会場に分かれてそれぞれ12回ずつ行いました。参加者は、テレビモニターを使った脳トレと運動のメニューに四苦八苦しながらも楽しく取り組みました。4自治体オンラインイベントでは、中澤副市長から高知市老連への熱い応援メッセージをいただきました。

また、市老連は、外部の関係団体から永年の活動実績を評価され、社会問題化している交通安全や介護問題、社会福祉等に関して会議への参加を要請されています。

以下のような会議があり、市老連会長、副会長、事務局長で対応しました。出席要請

された会議では、主に高齢者と市老連の立場に立ち、社会的な理解を求めるとともに情報を得ることに努めました。

○ 会長担当の会議

- ・ 高知市社会福祉協議会理事会
- ・ 高知市医療安全推進協議会
- ・ 高知市高齢者保健福祉計画推進協議会

○ 副会長担当の会議

- ・ 高知市市民憲章推進協議会
- ・ 高知県少子化対策推進協議会
- ・ 高知県安全安心まちづくり推進会議
- ・ 高知県道路交通安全推進連絡会議
- ・ 高知市福祉有償運送等運営協議会

○ 事務局長充職

- ・ 高知市国民健康保険運営協議会
- ・ 高知県交通安全推進県民会議交通安全推進幹事会
- ・ 高知警察署交通安全対策連絡会議
- ・ 暴力追放高知市民会議
- ・ 高知県安全安心なまちづくり会議
- ・ 高知市生活支援体制整備事業における協議体
- ・ 高知市交通安全市民会議
- ・ 高知市災害ボランティアネットワーク会議

(3) 専門部の事業活動

① 友愛活動部の事業活動

○ 友愛活動推進員研修会等

本年度も下記のとおり、ミニデイの代表者や推進員を対象に、地域の活動に役立ってもらおうと、各分野から講師を招き研修会等を実施しました。

参加者は延べ 245 名でした。

- | | |
|--------|--|
| 5月31日 | ミニデイ代表者会（参加者 32 人）
令和 3 年度ミニデイサービス活動予算配分(前期)について |
| 6月2日 | ミニデイ代表者会(春野あじさい会館)（参加者 7 人）
令和 3 年度ミニデイサービス活動予算配分(前期)について |
| 6月18日 | 市老連友愛活動部総会（参加者 48 人）
コロナウイルス感染拡大防止のため研修は中止 |
| 7月20日 | 友愛活動部推進員研修会（参加者 47 人）
講演「住民同士の支え合いと友愛活動～生涯現役で地域を支え～」
講師 NPO 法人明日への絆理事長 石橋 照久さん |
| 10月29日 | ミニデイ代表者会（参加者 33 人）
令和 3 年度ミニデイサービス活動予算配分（後期）について |
| 11月1日 | ミニデイ代表者会(春野あじさい会館)（参加者 6 人） |

- 令和3年度ミニデイサービス活動予算配分(後期)について
- 11月16日 友愛活動部推進員研修会(参加者59人)
ワークショップ「コロナ禍でのミニデイ事業実施について」
終了後～友愛活動部班長会(13人)
- 2月15日 友愛活動部推進員研修会
コロナウイルス感染拡大防止のため中止

○ 地域交流ミニデイサービス事業

この事業は市から委託されている事業で、市老連の友愛活動の中核事業となっており、推進員の皆さんの工夫と地道な努力のおかげで、参加者に楽しい場を提供しており、閉じこもり、寝たきり、認知症の防止に大きな役割を果たしています。本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、感染予防の取り組みを実施したうえでの活動となりました。

実施期間	令和3年4月～4年3月
実施場所	市内33ヶ所で延べ344回実施
利用者	年間利用者数5,078人

なお、地域で取り組んでいる箇所は、資料編12ページに掲載していますので、ご参照ください。

② 保健体育部の事業活動

○ 第14回グラウンド・ゴルフ大会(高知市東部総合運動場「多目的広場」)

当初10月25日の予定だった大会が雨天のため中止となり、1月に変更し高知市グラウンド・ゴルフ協会のご協力のもと開催しました。

- 日 時 令和4年1月17日(月) 8時30分～
- 参加者 老人クラブ会員及び選手 62人

○ 第22回「無事故・無違反チャレンジ100」

この事業のおかげで市老連に加入している老人クラブ会員は、一般の高齢者に比べ事故率が低いと警察等の関係団体から高く評価をいただきました。

- 期 間 令和3年9月28日(火)～令和4年1月5日(水)の100日間
- 参 加 35チーム、175人
- チャレンジ達成 34チーム(参加チームの達成率97.1%)
- 出発式 令和3年9月28日(火)10時～(中止)
- 表彰式 令和4年2月10日(木)10時～(中止)

③ 文化・事業部の事業活動

○ 第38回手作りシニア文化祭の開催 中止

○ 第48回シニア演芸大会の開催 中止

毎年老人憩所や地域の健康福祉センターの歌や踊り・ダンスなどの講座で練習を積み、その成果を発表する演芸大会ですが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大

を鑑み開催を中止しました。

○ **生き生き大学**

新しい仲間づくりと心豊かな生活の実現を願って、本年度は 47 人の生徒が 11 の講座を受講し、幅広い学習を行いました。

□期 間 令和3年6月～令和4年3月

□受講生 258人（延べ人数／年間）

□講 座 11講座

年間の学習内容は、資料編 11 ページに掲載しています。

○ 「市老連だより」の発行（7月・1月の年2回、各7,200部発行）

文化部が中心となり、市老連の行事や各老人クラブ・ミニデイ等の活動報告のほか、会員からの投稿や俳句・詩・写真などを掲載し、全会員と関係機関に配布し活動内容をお知らせしました。今年の新年号で、第82号の発行となりました。

○ **勧誘チラシの配布**

会員増強のため新規に介護保険に加入申請される市民を対象にした勧誘チラシを作成し、市の協力を得て配布をしていただき、会員の増加に努めました。

○ **レジャー農園**

レジャー農園では、26人の会員が大根、ねぎ、ピーマン、きゅうり、冬瓜、なす、リュウキュウ、エンドウ、サトイモ、ゴーヤー、ほうれん草、にんじん、スイカなど身近な野菜を栽培して楽しんでいます。

□場 所 高知市高埴10番地付近

□面 積 50区画（A43区画、B3区画、C4区画）

□使用者 老人クラブ会員 26人

○ **幹部研修旅行**

本年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としました。

④ **女性部の事業活動**

○ **女性大学活動**

女性大学は、単位老人クラブのリーダー養成を目的として平成6年から開設しています。

2年度に新型コロナウイルス感染拡大により新入生の受け入れを断念したため今年度は、1年生と3年生での開講となりました。

市老連の女性会員は、全体の69.3パーセントを占めており、女性会員の活躍のために女性大学の果たす役割は、非常に大きいものがあります。

新たに女性会員に入学していただき、学習の成果を地域の活性化につなげてもらいたいと期待しています。

年 度	3年度	2年度	元年度	30年度	29年度	28年度	27年度
受講生数	26	23	39	49	54	50	44

3年度も地域リーダーとして必要な知識等を幅広く学習しました。年間の学習内容は、資料編 10 ページをご参照ください。

□期 間 令和3年6月～令和4年3月

□受講生 1年生 15人 3年生 11人

□講座数 2学年で18講座

○ 花の植え替え

女性部の会員は、ボランティアとして高知市に協力しメインストリートや公園の花壇で季節の花の植え替えを行い市民や観光客に喜ばれています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止でしたが、2年ぶりに11月5日（金）に城西公園の市民花壇に9名で環境美化活動を行いました。

○ バザー

健康まつりと手作りシニア文化祭では、女性部の会員さんの協力でバザーや軽食堂を開催し皆様に喜ばれておりますが、今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、行事が中止となりバザーは行われませんでした。

⑤ 独身者友の会の事業活動

独身者友の会は、年7回の委員会で事業計画を立て下記の行事を実施してまいりました。延べ124人の会員の参加で交流を深めました。

○ 日帰り旅行

□日 時 令和3年5月19日(水)9時～

□行き先 佐川町（高知）

□参加者 18人

○ 日帰り旅行

□日 時 令和3年12月1日(水)9時～

□行き先 土佐町（高知）

□参加者 23人

○ 新年宴会

□日 時 令和4年1月12日(木) 12時～

□会 場 三翠園

□参加者 34人

⑥ 成年部の事業活動

成年部は、高齢化する市老連の組織の若返りと後継者の育成を目的に団塊世代や若手を対象にした事業展開をしています。

○ スマホ・デビュー講座の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より令和2年度より開催を中止しています。

○ ホームページの運営

市老連の活動を広く知って頂くために、高知市老人クラブ連合会のホームページを随時更新しながら運営しました。

内容構成は「事務局」「地域クラブ」「専門部案内」「講座案内」「行事スナップ」「憩所ニュース」「お知らせ」として掲示していますので、ぜひご覧ください。

ホームページアドレス：<http://www5.plala.or.jp/kochisi-rouren/>

○ 健康ウォーキング大会の開催

今年度は紅葉橋コース（約6キロ）、新月橋コース（3.5キロ）の2コースに分かれて、実施しました。

第32回健康ウォーキング鏡川コース

□日 時 令和3年4月9日（金）9時～

□参加者 37名

第33回新春初歩き鏡川コース（雨天のため中止）

□日 時 令和4年1月6日（木）

□申込者 40名

第34回健康ウォーキング「桜花見鏡川コース」

□日 時 令和4年3月24日（木）

□参加者 46名

○ ボウリング大会

残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和3年度は開催しませんでした。

IV 老人憩所の事業活動

市老連活動の三つ目の柱である老人憩所事業は、昭和48年7月から業務を開始しており、市内の高齢者にとって重要な拠点となっています。

老人憩所事業の中核である各種講座は、教養を深め、趣味の技能をより向上させるとともに生きがいや仲間づくりを目的としており、高齢者が健康を維持し、明るく楽しく過ごせるように活動しています。また、憩所には健康の維持を図るための健康器具や設備を整え、頭脳スポーツである囲碁・将棋コーナーを設けるなど、高齢市民の方々に自由に使って楽しく過ごしていただいています。

南部健康福祉センター老人憩所、西部高齢者いきいきセンター、春野あじさい会館、高齢者ふれあいセンター、東部高齢者いきいきセンターの5拠点の事業参加者は総合計34,077人でした。個々の内訳は以下の通りです。

1 南部健康福祉センターの運営

老人憩所では、定例、自主を合わせて60の講座を開設しており、講座生は月1～2回楽しく知識の修得や技能に磨きをかけています。また、特別行事や健康増進のための機器の利用促進、趣味のコーナーも運営しています。

3年度の老人憩所での定例講座・自主講座の利用実績は10,276人、囲碁・将棋・健康増進コーナー等の利用者は6,506人、市老連行事及び老人憩所の特別行事参加者は121人でした。

(1) 老人憩所の講座

① 定例講座 初心者を対象に月2回程度開いており、材料費を除き無料です。

16講座（洋裁、折り紙、絵手紙、ピラティス、コーラス、フラダンス、社交ダンス、ヨーガ、真向体操、つまみ細工、ゆる体操、自由民権、楽旅英会話A・B、ビーズアクセサリ、太極拳）

講座数 284回 延べ出席者 2,641人

② 自主講座 次の講座を開設しています。(有料)

44講座(俳句・連句、水墨画、手作り手芸、折り紙、絵手紙、民踊、歌謡舞踊、健康体操、ヨーガ、フラダンス、コーラス、カラオケ、詩吟、茶道、華道、書道、押し花、英語、編物、陶芸、洋裁、箏曲、社交ダンス、囲碁、3B体操)

講座数 763回 延べ出席者 7,635人

(2) 囲碁・将棋コーナーと健康増進室の利用

南部健康福祉センターの囲碁・将棋コーナーは4,797人、健康増進室の利用は1,709人で延べ利用者は6,506人でした。

(3) 憩所ニュースの発行

企画委員会で検討した日程の確認や市老連が主催する行事予定および行事報告等を載せ毎月発行しました。発行部数2,300部

(4) 老人憩所の特別行事

① 世代間交流 第43回子供の日の集い

□日時 令和3年5月6日(木)

□参加者 67人

② 定例講座入講式 中止

□日時 令和3年4月2日(金)

③ 第43回戦争と平和を語る会

□日時 令和3年8月6日(金)

□講師 櫻木 敏幸氏

□参加者 26人

2 西部健康福祉センター高齢者いきいきセンターの講座

(1) 高齢者いきいきセンターの講座

高齢者いきいきセンターでは、5つの定例講座を開設しており、主に鴨田、朝倉、旭、初月、鏡の市民が参加しています。

また、健康増進器具が整っており健康の維持を図るとともに、囲碁・将棋室で自由に過ごしていただくことができます。

来館者数は延べ15,223人となっております、地域に定着しています。

□定例講座 5講座(ヨーガ、囲碁教室、絵手紙、3B体操、オカリナ)

講座数 89回 延べ出席者 911人

□一般講座延べ来館者 延べ7,966人

(2) 囲碁・将棋室と健康増進室の利用

西部健康福祉センターの健康コーナーでは4,075人、同娯楽室で2,270人の方々の利用がありました。

3 春野あじさい会館の講座

春野あじさい会館では、主に春野町周辺の市民を対象に健美操、フラダンス、デジカメ教室の3つの定例講座を開設しました。

□定例講座 3 講座（健美操、フラダンス、デジカメ教室）

講座数 50 回 延べ出席者 432 人

4 高齢者ふれあいセンターの講座

令和 2 年度から市社協に代わり新たな取り組みとして高齢者ふれあいセンターにおける定例講座を開設しました。

□定例講座 5 講座（俳句、健美操、楽しい歌声、太極拳、ヨガ）

講座数 68 回 延べ出席者 574 人

5 東部高齢者いきいきセンターの講座

令和 2 年度から市社協に代わり新たな取り組みとして東部高齢者いきいきセンターにおける定例講座を開設しました。

□定例講座 4 講座（太極拳、実用書道とペン字、ヨガ、童謡・愛唱歌）

講座数 71 回 延べ出席者 875 人

V 高知市老人クラブの高齢者福祉への寄与度（健康・友愛・奉仕）

事業区分	延べ活動人数（概数）	備考
単位老人クラブ	70,271 人	127 クラブ 4,960 人
ブロック研修会	59 人	
ミニデイサービス事業	5,078 人	33 カ所
女性大学	185 人	単老クラブリーダー養成
生き生き大学	258 人	生涯学習の場
後援事業への参加	1,898 人	
友愛活動部研修	245 人	
グラウンドゴルフ大会	62 人	
無事故無違反チャレンジ 100	175 人	高齢者交通事故防止企画
レジャー農園	312 人	
独身者友の会事業	124 人	
健康ウォーキング	83 人	
憩所定例・自主講座事業	10,276 人	60 講座
憩所囲碁、将棋、健康コーナー	6,506 人	
特別行事参加	93 人	世代間交流
西部健康福祉センター講座	15,223 人	
春野あじさい講座	432 人	
高齢者ふれあいセンター講座	574 人	
東部高齢者いきいきセンター講座	875 人	
県老連主催事業	65 人	スポーツ大会等
計	112,794 人	

VI 令和3年度市老連その他の取り組み

1 高齢者交通死亡事故防止への協力

近年、交通事故が大幅に減少している中、発生した交通死亡事故のうち高齢者の割合が6割以上を占め、また、加害者としても重大事故を引き起こす事態が続き、大きな社会問題となっています。

高齢者の事故防止のためには、運動機能の低下を前提にした安全運転や目立つ服装に気を付けること。運転者においては、加齢による身体機能の低下や家族から不安がられる場合は、運転免許返納支援での特典を生かした免許証返納の推奨をしています。いずれにしても県警、行政機関、安全協会等が催す行事にも積極的に参加し、新たな知識や情報を得て日常生活に活かすことが肝要です。

今年度は7ミニデイにおいて、交通安全教室等を開催し研修を行いました。

- ・ 地域での高齢者交通安全教室の開催と参加
- ・ ミニデイ関係 田辺島、鴨部中央、小高坂更生センター、春野秋山分館、春野仁ノ分館、高須公民館、一宮ふれあいセンター
- ・ 春・秋・年末年始の交通安全運動への参加
- ・ 昼間ライト点灯運動への協力

2 市老連の三事業の継続

市老連の活動は、実績報告のとおり「地域活動」、「市老連企画の活動」、「憩所活動」の三事業で構成しています。

3年度はこれら三事業を高齢者の健康づくり、生きがいや仲間づくりのために実施してまいりました。詳細は次の活動実績表のとおりですのでご参照下さい。

3 県老連との事業活動

(1) 高知県老人クラブ連合会との主な事業連携

平成27年4月に県老連に復帰してから7年を経過しました。市老連は県老連へ理事1名と評議員3名を送り、現在三宮会長と浜田女性部長が県老連副会長に就任しています。

令和3年度の活動については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けほとんどの事業が中止となり、次表の通り65名が参加しました。

表2：令和3年度 県老連活動表

日時	事業名・内容	要請数	参加数	備考
R03.11.5	ろうれんピック2021 中部会場 (室内1種・室外2種の競技大会)	ワナゲ、ペタンク、 グラウンド・ゴルフ 計44名		春野総合運動公園
R03.11.11	第61回高知県老人クラブ大会	なし	5名	ふくし交流プラザ 女性部受付参加
R03.12.10	元気ハツラツ&はちきん大会	10名	10名 6名 計16名	春野ピアステージ 女性部受付参加

(2) その他の事業連携

女性委員会、若手委員会、評議員会、理事会、事務連絡会が年に数回開催され、各イベント時には、各々の実行委員会への参加要請がありました。また、事務局の打ち合わせや小規模な交流として、若手委員会等の実施するハイキング、リーダー育成研修会等があります。

(3) 全老連の傷害保険及び賠償保険

平成 28 年 1 月から「市老連傷害保険制度」を廃止し、補償額がより有利な全老連の傷害保険及び賠償保険へと切り替えました。それから 7 年を経過し、更新手続きなども順調に進められるようになりました。

さらに未加入の方への勧誘に取り組み、積極的な活用をお願いします。また、傷害保険は単老単位に年 2 回（4 月・10 月）の加入に変更されました。未加入のクラブには検討をお願いします。

第2号議案 令和3年度 決算報告

1.歳入の部

(単位:円)

勘定科目	市老連事業	受託事業	全体	備考
1款会費	1,108,000	0	1,108,000	8,000円×126クラブ、賛助会費
2款補助金	10,009,000	0	10,009,000	市、県老連、市社協
3款委託金	0	22,346,720	22,346,720	市から受託(講座、運営、ミニデイ)
4款寄付金	441,335	0	441,335	団体389,780円 個人51,555円
5款負担金	775,314	0	775,314	旅行、受講料、レジャー農園
6款 雑収入	155,161	0	155,161	コピー代金等
その他(営業外利益)	233,940	0	233,940	受取利息他
計 A	12,722,750	22,346,720	35,069,470	

2.歳出の部

(単位:円)

勘定科目	市老連事業	受託事業	全体	備考
報酬	204,400	4,841,800	5,046,200	講師謝金
役員報酬	396,000	0	396,000	理事事務費、交通費等
給料手当	6,961,401	13,937,140	20,898,541	職員給与(10人分)
退職金共済	516,000	432,000	948,000	中小企業退職金共済
法定福利費	1,154,523	1,684,995	2,839,518	社会保険料、労働保険料
福利厚生費	26,000	0	26,000	クンペル会費
会議費	128,864	0	128,864	総会表彰記念品等
旅費交通費	154,734	0	154,734	切手・はがき、別納郵便
通信費	114,771	276,643	391,414	電話料、プロバイダー料等
消耗品費	247,521	411,668	659,189	コピー用紙・文具他
事務用品費	668,060	160,773	828,833	データーサーバー等事務機器
水道光熱費	80,678	0	80,678	レジャー農園用
図書・印刷費	113,335	0	113,335	憩所ニュース、市老連便り
諸会議費	402,200	8,896	411,096	県老連年会費30万円他
支払手数料	9,272	30,470	39,742	銀行手数料
リース料	2,970	248,070	251,040	コピー複合機他
保険料	18,000	91,908	109,908	行事、ミニデイ事業分確定額
修繕費	11,160	0	11,160	レジャー農園トイレ
運送料	264,788	0	264,788	憩所ニュース、市老連便り
雑費	44,903	0	44,903	その他慶弔費等
外注費	15,000	222,357	237,357	西部センター受託事業他
計 B	11,534,580	22,346,720	33,881,300	一般管理費の計と一致

3.純資産の計算

(単位:円)

勘定科目	市老連事業	受託事業	全体	備考
C 単年度利益	1,188,170	0	1,188,170	A-B
D 前期損益修正損	1,205,274	0	1,205,274	R2年度分未払金等の確定による
E 当期純利益(損失)	-17,104	0	-17,104	C-D
F 前期末繰越金(債権含む)	17,787,552	0	17,787,552	負債、資産科目の期首計算額
G 次期繰越金(債権含む)	17,770,448	0	17,770,448	F+E

備考 元職員への債権額14,415,913円

Gとの差額= 実際に使用可能な資産 3,354,535円
5月の新年度収入までの運転資金約300万円程度